

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.257

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿 2-8-2 CCC ビル
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: chiba@life-line.tv
ホームページ <https://chiba.life-line.tv/>
郵便振替；00110-8-579669
ゆうちょ銀行；〇一九店(当座)0579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

「新たな歩み」

岬キリスト教会 佐藤俊男

新しい年、わたしたちは「自分のことだけではなく、他人のことにも注意を払いなさい」(フィリピの信徒への手紙12.5)の御言葉で歩み始めました。この年は、この主なる神からの御言葉の光に、足下を照らされながら、キリストの心を生きる群となっていくことでしよう。

5節では、古い日本語の訳では、「キリストの心を心とせよ」となっています。キリストの心を心として生きる、それはキリストの心を生きることでしよう。

キリスト・イエスは「へりくだった」心のお方でした。わたしたちのために神の位を捨て、わたしたちと同じ人となり、神と人にと仕えて十字架の道を選んで死んでくださったお方です。キリスト・イエスは誰よりもわたしたちのことを考えてくださったお方です。ですから、イエスの十字架によって、滅びるしかないわたしたちが、主なる神の罪ゆるしを得、神の永遠のいのちに与ることができました。

このキリストの心を生きていたのが、フィリピの町の教会でしょう。当日、パウロはローマの牢獄にいました。捕らわれの身となっているパウロのもとへ、フィリピの教会はエパフロディトに義捐金を持たせて派遣します。パウロの窮乏を補い、獄中生活をしているパウロの身の回りの世話をしながら、エパフロディトは福音が前進するために働いていたパウロの手足となって心から一心不乱に労していました。フィリピ教会の兄弟姉妹の分も補おうとして走り回ったことでしよう。パウロが自ら証しています。「彼はキリストの業のために命を懸け、死にそうになったからです。私に対するあなたがたの奉仕の足りない分を補おうとしてくれたのです」(フィリピ2・30)

フィリピの教会はパウロのために祈ったことでしよう。祈りの中から生まれてきたのでしよう。お金を集めてエパフロディトを派遣したのです。教会が今、パウロのためにできること、すべきこととして行動しました。

自分のことだけでなく、へりくだった心をもって他者のことをも考える、そして行動する教会としてわたしたちは新たに歩みはじめました。伝道もいろいろな方法でなされています。自分たちにはできなくても、その働きを支援することで、わたしたちも一つになって働き、主のために労し、良い実を結ぶるのではないかと、祈りつつ歩きだしました。

「千葉ライフ・ライン事務局」からの とれたてホットニュース

わたしの、彼との契約は、いのちと平安であった。わたしはそれらを彼に与えた。それは恐れであったので、彼はわたしを恐れ、わたしの名の前に、おののいた。(新改訳 2017 マテ 2:5)



1. 番組を繰り返しご覧になれます

番組を見逃したとき、もう一度見たいとき、何回も見たいときにはBRIDGEで。

インターネットからライフ・ラインの番組を見ることができます。

聖書チャンネルで検索、
聖書チャンネルBRIDGEを見つけてください。
(seisyobridge.com)

2. 番組放映のため献金をお願いいたします

あなたとともに伝道するライフ・ライン。聖書を読めば、たいへんなときもみことばを宣べ伝えながら避難して行った民のことが書いてあります。私たちがたいへんですが、キリスト教に関心ある方のために共に放映を続けませんか。

3. ライフ・ラインCMを募集します。

ライフ・ラインで教会案内をしてみませんか。CM料金は、毎月、案内は1回4000円、教会案内と番組放映の維持の働きをいたします。

よろしく、お願いいたします。

お申込み、お問い合わせはホームページから、あるいは、090-6709-0726山本進、または事務局へ。

4. 事務局より

宗教2世の話題がマスコミをにぎわせていますが、もともとは政治家との癒着の問題です。もちろん宗教2世の置かれた問題は大切ですが、何となく問題意識をずらされているように感じます。事務局の近くにも世界家庭平和統一連合があり、問題発覚後、表看板にしていた創始者夫妻の写真がすぐに外されました。放送伝道の妨げになりますがあきらめずに進めるようお祈りください。

放送レスポンス状況

毎週放送のレスポンス

12月 千葉18通 (初めてお便り 6通)

聖書通信講座

12月も申し込みはありますが、解答はお休みでした。お祈りください。在主。(山本進)

<2023年2月の千葉ライフ・ライン祈禱会>

2月14日(火)午前10時半~12時 の予定
千葉クリスチャンセンター(CCC)ビル3F
グローリア足達会計事務所

(〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
連絡先 TEL 043-247-3058 事務局)

<奉仕とお交わり>

2月18日(土)午後1時から、千葉クリスチャンセンタービル3F、税理士法人グローリア足達会計事務所(TEL043-243-8001)でニュースレター発送を行います。お時間を見計らってご奉仕ください。

<12月のおたよりから>



(1週目)・90代で感謝の10年にしたいと思っており、堀先生が娘さんの置いていった本から紅茶

に魅了され、はまっていかれたお話をうかがい、自分も興味を持って実行してみたいと思いました。

(2週目)・かわいいフェルト作品を見て私も制作してみたく思いました。お孫さんが低体重児だったので、我が家の孫も1000グラム位で生まれたので、身につまされました。成長を主に祈る日々です。

(3週目)・土曜朝ライフ・ラインいつも拝見して、出演者の生き様に感動しております。12/18 関根先生のメッセージ”キリストは今も生きておられるのです!”に心打たれ励まされました。「われに來よ」も響きました。

(4週目)・あったかーいカレンダーほしいですね。何かいいことありそうな。

<あとがき> 2023年は、先の読めない年となっています。すべては、コロナ感染のときのロシアのウクライナ侵攻から始まりました。主のさばきを見たいと思います。

また各教会の宣教が導かれますように。苦しみの先に光があると信じます。

皆様がコロナから守られますように。(山本)

